

じゅず
珠数

G0103

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

セネガル・ウズベキスタン・
中国・パキスタン



※ 種類が違う場合があります

イスラームで使う数珠。神様をたたえる言葉を唱えた回数を数えるために使う。イスラームの神アッラーには99の別名があるとされ、玉の数は基本的には99個(大)だが、33個(小)のこともある。玉の数が決まっているので、指を折って回数を数えるよりも、お祈りに集中することができる。



三島先生からのひとこと

数珠の代わりに数字が出る数取器(人数を数えるときなどに使うもの)を用いる人もいます。便利だからということですが、宗教的な厳かさがないように感じるのは私だけでしょうか。



横山先生からのひとこと

中国語では数珠のことを「念珠(ニエンジュー)」と言います。中国語を使うムスリムである回族は、他の宗教の数珠と区別して、普通は「念珠」と呼ばずに、ウルドゥー語で「タスピーフ」と呼ぶそうです。



吉岡先生からのひとこと

数珠と言っても、高いのから安いのも、材質も色もデザインもさまざまです。たとえプラスチックの安物を使っていたとしても、真剣にお祈りする上では何も問題ありません。



寺村先生からのひとこと

解説で「玉の数は決まっている」と書きましたが、玉を束ねている箇所にも数個使われていたり、33個または11個ごとに形の違う玉が入っていたり、数珠によってもけっこう数が違ったりします。みなさんが手にされた数珠は、玉の数は何個だったのでしょうか？

今中先生からのひとこと

中国西北部の陝西省西安市では、高級感があるという理由から、メノウを使った中国産のものが人気だそうです。